

成瀬再生医療研究会 研修会

近年、歯科治療において、再生療法は欠かせない治療の一つとなってきています。成瀬再生歯学研究会は、歯科における再生療法の向上と、レベルの高いインプラント治療の修得を目的としています。より多くの方に明日から実践できる治療を学んでいただきたいと思います。

当研修会講師陣



歯学博士 成瀬 啓一
成瀬歯科クリニック
(山形県山形市開業)
日本口腔インプラント学会専門医
ドイツインプラント学会指導医
国際口腔インプラント学会指導医



黒下 泰宏先生
黒下歯科クリニック
(兵庫県伊丹市開業)



中川 新二先生
なかがわ歯科医院
(大阪市開業)



西尾 俊彦先生
にしお歯科クリニック
(岩手県花巻市開業)



鈴木 智子先生
成瀬歯科クリニック勤務
(山形県山形市)

成瀬再生医療研究会主催コース

■平成 25 年 10 月 27 日 (日) am10:00~pm5:00 受講料: 3万5千円

会 場: BioMet3iJapan セミナー室 (東京都港区芝 2-7-17) 住友芝公園ビル 12F

○「骨再生セミナー 成功する GBR 法とは」成瀬 啓一先生
松本歯科大学インプラントセンター臨床教授
垂直的骨造成の長期経過より考察する GBR 法 (非吸収性膜、吸収性膜、チタンメッシュ) 各種骨補填材の使用法
そして、Live Video を供覧しながら成功する GBR 法の勘所をお話します。

○「パーティカルサイナスフロアエレベーション」 雨宮 啓先生



藤沢歯科ペリオ・インプラントセンター

日本歯科麻酔学会 認定医

日本臨床歯周病学会 認定医

日本歯周病学会 専門医

日本口腔インプラント学会 専門医

著しく骨量が不足した上顎臼歯部においてインプラント治療を行う場合、ラテラルアプローチによるサイナスリフトが一般的な術式である。しかし、その方法は手術侵襲が大きいことから、術後疼痛や腫脹、感染といった偶発症の発生頻度が高いことが知られている。また、従来から行われてきたソケットリフトは、ラテラルアプローチによるサイナスリフトに比べて手術侵襲は少ないが、上顎洞の拳上量が十分に得られない場合があることや、盲目的手術であるため、上顎洞粘膜を穿孔させやすい等の欠点がある。一方で、我々が行ってきたクレストルアプローチによるサイナスリフトは、インプラント埋入形成窩から、直接、上顎洞底の拳上を行うことが可能となる術式で、ソケットリフトと同様に低侵襲な手術方法が特徴である。そこで今回、クレストルアプローチによるサイナスフロアエレベーションの手術方法を紹介するとともに、その適応症や臨床的な考慮事項、術後経過について、症例を交えながら、考察してみたいと思う。

講料
振込先

問い合わせ先 成瀬再生歯学研究会事務局 (成瀬歯科クリニック内) TEL023-625-2525 FAX023-625-0005
きらやか銀行 県庁通支店 普通預金 1040005 成瀬再生歯学研究会 代表 成瀬啓一
振込み手数料はご負担ください。

氏名		ローマ字	
医院名		e-mail	@
医院住所	〒		
	TEL	FAX	
出身大学	大学	卒業	
生年月日			
インプラント経験年数	年	ご使用のインプラントシステム	